

# UCHIKOCHI

Uchide no Koduchi

vol.  
62

平成30年9月発行

## 時代を越えて 生き残る経営

特集

### 特集

- (株)ヒラカワ P 2
- (株)オーケーエム P 4
- 東洋化学(株) P 6

### 元気企業! 紹介

- (株)ズームスケープ P 8

### プラザのお知らせ

- インフォメーション P10
- トピックス P17
- イベント・セミナー案内 P18



公益財団法人

滋賀県産業支援プラザ



# ソリューション営業で 次の100年へ



建築設備技術遺産に認定された1957年出版の「平川ボイラ便覧(初版本)」と100周年記念の新訂版。安定した品質のボイラを設計するための各種データをまとめ、工業高校や大学に無償配布された。この便覧で学んだ多くの学生がその後、技術者として活躍し、同社の信用の礎を築いた。



ボイラ診断の様子  
ボイラの負荷変動や熱源の用途を専門技術員が調査し、最適な省エネソリューションを提案

## 株式会社ヒラカワ

代表者/代表取締役社長 平川晋一

従業員数/299名

住所/滋賀事業所

滋賀県野洲市三上2308番地

創業/1912年

業務内容/ボイラ、温水ヒータ、圧力容器

および周辺機器の開発、製造、

販売、メンテナンス

TEL / 077-588-2451

URL / <https://www.hirakawag.co.jp/>



平川 晋一 さん

代表取締役社長

## 株式会社ヒラカワ



ものづくりの動力源や大規模施設の熱源など、私たちの生活に欠かせないボイラ。ヒラカワは、その安定供給と製品開発において1912年の創業以来、常に業界のリーディングカンパニーとして106年にわたり歩み続けてきた。よりコンパクトに、より効率よく、よりクリーンな製品を目指し、世界に通用する技術を磨くため、野洲にある滋賀事業所には顧客とともにテスト・研究する場として日本初のデモセンター「ボイラ技術開発センター(B-TEC)」を開設。省エネへの取り組みをはじめ、地球環境に配慮した新技術の開発にも挑戦し続けている。

### ※サポイン事業

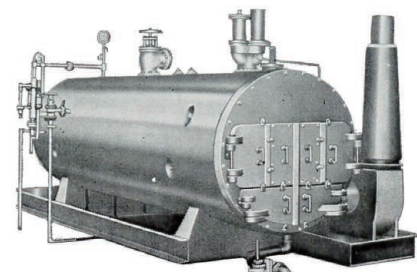
戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)は、デザイン開発、精密加工等の特定ものづくり基盤技術12分野の向上につながる研究開発、試作等の取組みを、国が支援する制度です。産業支援プラザでは、本事業に挑戦する企業等のプロジェクト構築から公募申請、および事業管理までの支援を一貫して行っています。

## 日本初のパッケージボイラ

### —— 創業は明治45年と伺いました

初代が大阪で鉄工所を立ち上げたことに始まり、次第に工場の熱源などを担うボイラに特化していきました。

戦後、一品ごとの受注生産からの脱却を目指して、標準化されたパッケージ製品の開発に着手し、昭和28年には日本初の炉筒煙管ボイラ「MPボイラ100型」が完成します。これは、熱を内部で循環させて熱効率を高めた、世界に通用する高性能ボイラでした。高度経済成長や東京オリンピックの特需の波に乗り、首都圏のデパートや高層ビルなどで採用していたが、そのご縁はいまも続いています。



国産初の炉筒煙管ボイラ「MPボイラ100型」

### —— 業績はずっと順調だったのでしょうか？

先代の父の時代には、二度のオイルショックで大打撃を受け、リストラも余儀なくされました。その後、父が病を得、40歳だった私が社長に就任しました。業界全体が価格競争に突入するなか、会社の存続に強い危機感を抱きながらの就任でしたが、当時の役員たちはバブル崩壊後の不況も一時的なものだと楽観視していました。しかし、留学経験もあった私は、欧米の同業者を訪問し話を聞かなかで、日本のボイラ市場は成熟期を迎えており、従来の事業の延長ではいずれ立ち行かなくなると感じていました。

## 改革の鍵は開発力

### —— どのように改革を進められたのでしょうか？

役員全員と管理職を大幅に刷新し、

改革が断行できる体制にしました。そして、外注していたメンテナンス事業を取り込み、それまでの売り切り型から、メンテまでを一貫して行うようにしました。また、シェアや台数を目標にするのをやめ、赤字物件は辞退することで売上は減りましたが、安売りをやめたので逆に利益は増えました。しかし、それだけでは生産設備が遊んでしまうため、ボイラ以外で何か新しい製品を手がけようと模索を始めました。そんなとき、熱力学の本を読み返していたら「熱は仕事をする」という一文に目が留まりました。お客様が買っているのはボイラではなく熱。ではその熱は何に使われているのか？そんなことも知らず、ボイラを作っていたことに気づき、「ボイラメーカーとしてやるべきことがまだまだある」と思いを新たにしてお客様の用途に最適化した製品開発を追究することにしたのです。これを契機に、お客様が実費のみで実験できる研究施設「B-TEC」を滋賀事業所に開設し、提案開発型のソリューション営業への道を進みはじめました。

### —— いまは省エネ製品も主力ですね

お客様の用途開発では、乾燥に特化したボイラをはじめ、様々な挑戦をしました。しかし、用途開発は試作の繰り返りで、なかなか売上につながりません。そこで欧州の同業者と提携し、省エネ性能に優れた高効率ボイラの製造・販売に着手しました。とはいえ、価格が3倍にもなり当初はまったく売れませんでした。そこで、お客様の施設に無償提供して実測運用させていただいたところ、燃料代が3割近くも下がって、1年で元が取れることがわかり、高くても買ってもらえるようになりました。省エネこそ今後の主力になると考え、開発方針を用途開発から省エネに転換しました。

そのなかで社員から出たアイデアが「ボ

イラ診断」です。お使いのボイラの効率を計測し、利用状況に適した商品を提案して省エネを推進するというもので、現在ではメンテナンスとボイラ診断が事業の大きな柱になっています。



燃焼の際に発生するガスに含まれるH<sub>2</sub>Oの凝縮熱を利用し、100%を超える熱効率を実現した潜熱回収温水器「UltraGasシリーズ」

## コトづくり

### —— 生き残るための経営とは？

技術力を生かし、お客様にあわせた提案ができることこそ当社の強みであり、競争力の源です。それを生かすため、従来の営業や技術とは別に、私たちの商品やサービスを知っていただく活動に特化したマーケティング部と、診断や提案を行うソリューション部を設け、買っていただく前の「ピフォアサービス」に力を入れています。こうした、お客様とのコミュニケーションを通じてヒラカワのファンを増やす取り組みを「コトづくり」と位置づけ、全国で展開しています。

企業が存続していくためには、社会貢献も欠かせません。ボイラメーカーとして環境負荷の低減は社会的使命であり、産業支援プラザさんの支援を受けたサポイン事業では、CO<sub>2</sub>排出量の少ない水素混合燃料焼き小型高性能ボイラの開発に取り組んでおり、今年で3年目を迎えます。

商品開発はメーカーの命であり、トップが妥協せず高みを目指すことが重要ですが、決して一方通行にならないよう、円滑なコミュニケーションを大切にして、次の100年へつなげていきたいと思っています。

問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ

連携推進部 ものづくり支援課 担当/熱田、草間

☎ 077-511-1414

☎ 077-511-1418

✉ shin@shigaplaza.or.jp



# バルブの カスタマイズ開発で目指す グローバルニッチトップ



昭和42年に独自開発に成功した「ネオピンチバルブ」



幅広い分野で使われているオーケーエム製品  
高い品質と対応力が顧客の信頼を生んでいる

## 株式会社オーケーエム

代表者／  
代表取締役社長 村井米男  
従業員数／207名(平成30年6月1日現在)  
住所／  
本社・滋賀日野工場  
滋賀県蒲生郡日野町大谷446-1  
創業／1902年  
業務内容／  
流体制御高機能バルブの開発・設計、  
製造、販売  
TEL / 0748-52-2131  
URL / <http://www.okm-net.jp/>



# 村井米男さん

代表取締役社長

## 株式会社オーケーエム



液体や気体などの通り道となる配管において、そこを流れる“流体”の方向や圧力、流量の制御を行うのがバルブ。その専門メーカーであるオーケーエムは今年で創業から116年目を迎え、バルブの設計から製造、販売までを一貫して行っている。とくに昭和40年代からは製品開発で高い評価を得、蓄積してきた技術力と充実した研究施設、そして顧客のニーズに細やかに寄り添う営業力で、常に業界の先端を歩んできた。近年、環境に対する規制が厳しくなるなかで、それをビジネスチャンスととらえてさらなる製品開発に力を入れている。

### ※省エネ診断支援事業

省エネの専門家が事業所を訪問し、エネルギー利用状況を分析、照明・空調設備等の運用改善や更新、デマンド管理等による改善提案をおこないます。

## 創業者から受け継ぐ 技術者スピリット

のこぎり  
—— 創業時は鋸切を造られていたとお聞きしました

初代の奥村清太郎が蒲生町で製材用の木挽き鋸の製造を始めたのは明治35年のことです。いち早くフランス人技術者から洋鋼について学ぶなど、進取の気質に富んだ人でした。その姿勢はいまも受け継がれ、「独創的な技術」を社是に掲げてオリジナリティーを大切にしています。



—— なぜバルブ製造に方向転換されたのでしょうか？

戦後、製材は手作業から機械へ移り、木挽き鋸の製造は先細りでした。そのなかで清太郎の孫である清一が、高校の恩師から「これからは造船や製鉄、石油化学、発電など幅広い産業でバルブが必要になる」と教えを受け、卒業後にバルブ製作所へ弟子入りして鋸工場から加工、組み立てまでを学び、昭和27年に鋸工場の一角で事業を立ち上げました。バルブといえは彦根の地場産業ということもあり、はじめの10年ほどは先行企業に価格競争でなかなか敵わなかったようです。そんな苦しい状況を打破するために活路を見出したのが、ほかにないバルブを独自に開発することでした。

## “スキマ”に勝機あり

—— ほかにないバルブとは？

着目したのは、スラリー（粘性の強い流

体)用のバルブです。水や気体に比べて詰まりやすく、摩耗が早いので、たびたびトラブルの原因になっていました。改善するためには流体に合わせて設計や素材を変えなくてはならず、標準品のような大量生産も見込めません。しかし“スキマ”の分野だからこそトップになることもできるはず——。そう考えて社員一丸となって開発に打ち込み、製紙パルプや下水道などに用いられるナイフゲートバルブやピンチバルブなどの製造を手がけるようになります。そして昭和42年に、水密性とメンテナンス性にすぐれた独自製品「ネオピンチバルブ」の開発に成功したのです。

やがて、造船の配管などで使われる、軽くて操作が簡単なバタフライバルブが主流になり、当社でも生産を始めました。しかし、この分野でも当社は「お客様のほしいものをつくる」という考えのもと、お客様の要望に柔軟に対応したカスタマイズ開発に力を入れて独自の地位を築いてきました。相談や要望を細かく聞き取るために、従業員の3分の1を営業部門に充てているのも業界では珍しいのではないのでしょうか。

低温、高温、高圧の  
シール性に優れた  
「ハイパフォーマンス  
バタフライバルブ」



—— 受注は特注品が中心ですか？

標準品とカスタマイズ品の出荷比率は5対5で、ハイブリッド式の経営です。ただ、やはりどこにもない特殊なバルブを実現できる技術が当社の大きな強みです。

バルブは用途によって、温度だけでもマイナス200℃から800℃まで対応しなければなりません。使用環境がお客様ごとに異なり、納品先に設置してから評価されるため、おのずと開発に時間がかかります。また、パーツの組み合わせは10万種類を超えるため、独自の生産管理システ

ムを構築し、納期の短縮化を図っています。標準品を量産するほうが経営的には楽に見えますが、他社にないものは価格競争がなく、つくったものに自ら値付けできます。滋賀は工業県ですが、こういったビジネスモデルはまだ少ないように感じます。

## 追求し続ける独創性

—— 近年は環境問題に対応したのものづくりも求められますね？

先日、産業支援プラザさんの支援を受けて、省エネ推進に関する補助金申請の最初のステップとして、省エネ診断※を受けました。専門家の助言をもとに、より高い省エネ目標に取り組んでいきます。

また、商品開発面でも近年、船舶のSOx（硫黄酸化物）やNOx（窒素酸化物）の国際的な排ガス規制がより一層強化されるなど、環境対応の課題が山積しています。ただ、これは新たなビジネスチャンスともいえます。そこで当社では、SOx、NOx規制に適合した排ガス用高温制御弁を生産するための最新工場を、創業の地である東近江市に建設中で、環境対応製品のものづくりに向け体制を整えています。



来春から稼働予定の滋賀東近江工場(完成予想図)

—— 企業存続の鍵とは？

独創的な技術を追求し続けることだと考えています。当社の強みである顧客との対話やマーケティングをグローバルに広げていくことも重要で、そのためには産学官のネットワークも大切になってくるでしょう。さまざまところから訪れるビジネスチャンスをキャッチするためにも、これからも技術を磨き、人材の育成に努めたいと思います。

問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ

経営支援部 販路開拓課 担当/船越

☎ 077-511-1413

☎ 077-511-1418

✉ hanro@shigaplaza.or.jp



# 「貼る」技術で 医療から新たな分野へ



食品工場のなかでの  
絆創膏混入事故を防止するため、  
金属検知器や  
X線異物検知器に反応する  
特殊絆創膏  
「混入事故対策用絆創膏」



オリジナルキャラクター  
「はる かばたん」

カバーCOVER!



東洋化学が日本で初めて市場に送り出した「ウレタン基材」と「シリコーン粘着剤」を使った絆創膏。  
素材と加工技術を組み合わせ、用途に応じて開発された自社ブランド商品。

## 東洋化学株式会社

代表者／  
代表取締役 岡 京磁  
従業員数／79名  
住所／  
滋賀県蒲生郡日野町大字寺尻1008番地  
創業／1959年  
業務内容／  
医薬品・医療機器・医薬部外品の製造販売、  
化粧品・衛生用品の販売、その他関連商品の  
販売  
TEL / 0748-52-5000  
URL / <http://www.toyokagaku.com/>



岡 京磁さん

代表取締役社長

## 東洋化学株式会社



江戸のころから薬のまちとして知られる日野町。そこで医療用粘着テープの「貼り薬」や「絆創膏」の製造を手掛けてきた東洋化学は、日本初のウレタン素材救急絆創膏やX線に反応する混入事故対策用絆創膏など、業界に先駆ける素材開発で新しい製品を世に送り出し続けている。大手医薬品・医療機器メーカーとの共同開発のほか、産学官での研究にも取り組み、長年培った「体に貼る技術」は、医療の分野だけでなく、IoT社会におけるウェアラブル用素材としても期待される。

※しが医工連携ものづくりネットワーク 医療機器開発に係るニーズとシーズのマッチングや公的資金の獲得、法的規制、治験、マーケティングなどのあらゆる相談に対して、コーディネータが医療機関、公的機関等と連携しながら対応し、事業化を支援します。医療機器開発に役立つ講演会やセミナー、各種補助金等の最新情報のメルマガ配信、産学官連携によるプロジェクト構築などを行っています。現在の会員機関数は222で、入会は無料です。

## 新しい素材への挑戦

—— 古くから薬に携わってこられたそうですね

先々代の社長である私の父が岡薬品工業の名前で会社を設立したのは昭和39年ですが、家業としては代々「日野の薬売り」をしていました。曾祖父のころには配置薬を全国で手広く取り扱っていたようです。設立当初は貼り薬をつくっていましたが、昭和46年から救急絆創膏の製造を始め、現在は主力製品になっています。

—— 開発に力を入れてこられたとうかがいました

父はもともとのづくりが好きで、工場の製造機械なども自作していました。その旺盛な探求心とフロンティアスピリットが当社の社風になってきたのだと思います。

例えば、絆創膏には体に貼るための「基材」と傷口を保護する「パット」の部分がありますが、基材に国内で初めてウレタン素材を使ったのは当社です。従来の塩化ビニール製より伸縮性に優れているのが特徴で、繊維・紡績の大手メーカーと共同研究を行い、昭和60年にウレタンフィルム、5年後にウレタンと不織布を組み合わせたより伸縮性が増した製品が誕生しました。また、粘着剤にも他社にない特徴をもたせたいと思い、透湿性に優れ、水に強く、蒸れにくく、粘着力が強いうえにベトつかないシリコン粘着剤を使いました。

## 技術を製品にする展開力

—— 市場の反応はいかがでしたか

ウレタン素材とシリコン粘着剤の組み合わせは、どちらも高価な材料でしたので、業界では商品価格が高くなり過ぎて売れないと言われていました。しかし実際に販売してみると売れました。

ウレタンとシリコンを組み合わせた絆創膏は、まさに消費者のニーズに合致するものでした。常に使う人の身になってより良いものを、と考えながら、どこもやっていない素材を発掘してくるのは当社の得意とするところで、技術を製品に変える展開力こそ強みだと考えています。



濡れると膨らむ素材をパットに用い、止血する絆創膏として開発された「穿刺部被覆保護用絆創膏」。海外にも多く出荷され、顧客の要望に応じてさまざまな形状をつくっている。

—— 平成19年には技術開発部を立ち上げておられますね

その年に滋賀県工業技術総合センターのレンタルラボに入居し、栗東開発室を開設しました。ここで開発したハイドロコロイド素材の絆創膏は、傷口に集まる体液(傷を治す成分)を吸収・保持して、皮膚本来のもつ自然治癒力を高め、傷を早くきれいに治すことができます。ハイドロコロイド素材は、もとは床ずれのケアに使う病院向けの製品で使われており、一般市場では販売されていませんでした。全国救急絆創膏工業会の業務委員長をしていた私は、業界の依頼を受けて厚労省と話し合い、薬事法の改正にあわせて「家庭用創傷パッド」という一般向けの新たな医療機器のカテゴリーを創りました。



体液で湿った状態で傷を保護し、早い治癒をサポートするハイドロコロイド型絆創膏「キズクイック」

こうして、すぐれた特徴を備えたハイドロコロイド素材の絆創膏市場が生まれ、高付加価値商品として定着しました。当社はこの分野の開拓者としての誇りをもって、自社一貫生産することで機能や形状など消費者のニーズに合わせた多様な製品展開を行っています。

## 個性あるものづくりを

—— いま挑戦されていることは?

研究開発のためには多方面との連携が欠かせません。先週もプラザさんが主催する「しが医工連携ものづくりネットワーク会議」※の講演で、貴重なお話を伺うことが出来ました。また、プラザさんを介して、滋賀医大の先生とも情報交換しており、たいへん参考になっています。

それから、サポイン事業※として取り組み始めたSMF(縮む力を弱めた新しいフィルム素材)の開発を現在も続けています。絆創膏が縮むことが皮膚へのストレスになり、かぶれの原因となります。SMFはかぶれにくい素材として期待しています。

—— 今後も発展していくためには何が大切でしょう?

企業を存続させていくためには、やはり個性あるものづくりを続けていくことが大切です。単に素材を仕入れて加工するだけでは、いずれ価格競争におちいってしまいますが、私たちには、独自の技術で先鞭をつけて市場を創り、業界をリードしてきたという自負があります。絆創膏だけで考えると市場は限られていますが、蓄積してきた「貼る」技術を、これからのIoT社会のなかで「ウェアラブル」として活用することができれば、可能性は無限です。これまでの経験と、人の体に貼ることに関する膨大なデータを生かし、広い視野で未来を見据えたいと思っています。

# 元気企業！ 紹介

## 使う人に寄り添う 「写真計測」の最先端技術

株式会社ズームスケープ

おのてつ  
代表取締役・工学博士 小野 徹 さん

画像から対象物の大きさや形状を測る写真計測技術。なかでも株式会社ズームスケープは、この分野で苦手とされてきた大きな対象物や遠方からの計測を可能にする「三次元遠方写真計測」技術を掲げて2008年に起業した。経営者の小野さんは現在も大学の講師を務める研究者。創業から10年を迎えるいま、建築や防災、インフラのメンテなど、現場のニーズに即した技術開発で、海外も視野に入れた新たな飛躍を目指す。

### 研究者の視点から 経営者、利用者の目線へ

#### — 主な事業は何でしょう？

写真計測システムを用いた計測業務と技術開発、研究受託、共同研究、システムのリースのほか、技術コンサルティングなどを行っています。

起業時の主力商品である「三次元遠方写真計測」システムは、長年、私が大学で研究してきた成果を世の中に役立てるため開発したものです。名前の通り対象物を遠くから画像に撮り、その大きさや形状、微細な動きや変形を精密に計測するシステムで、例えば、ビルなどの大きな建物や遠くにある橋、あるいは崖崩れなど

近づくことができない災害現場などで活用することができます。

#### — 起業された経緯は？

私が研究する写真計測の技術を活用すれば、インフラの劣化検査や災害調査を簡易かつ効率的に行えると確信していました。ただ、研究者として大学に籍を置きながら、片手間で最先端の研究を事業化できるものでもありません。そこで思い切って退職し、プラザさんの支援で創業準備オフィスに入りました。いまからちょうど10年前のことです。

当時は、三次元遠方写真計測システムの事業化が起業の目的でしたし、それが当社の強みだったのですが、実は

今は“遠方”にこだわっていません。私たちの技術を使いたいという人がいるなら、その人の用途に沿って最適なシステムを開発するべき、という風に考え方が大きく変わりました。

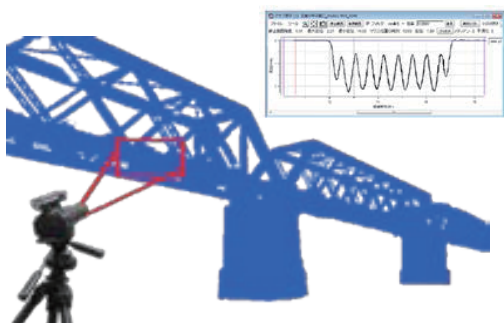
お恥ずかしい話ですが、当初は「こないない技術があるから勉強して活用しなさい」と言わんばかりの、ある意味研究者気質が抜けない上から目線だったように思います。しかし、建築や土木、防災などの現場に行ってみると、お客様と話をすると、我々が気づかなかった現場ならではのニーズがあり、当社のシステムでは対応できないのです。つまり売れない。こうした経験を通じて、上から目線ではなく、お客様の視点に立って考えることの大切さを痛感し、我々の技術を現場ニーズにどう合わせていくかを追求する姿勢に変わっていきました。

### 販路開拓を目指して

#### — お客様の視点に立つとは？

同じような業種、同じような業務内容でも求められるものが違います。それら

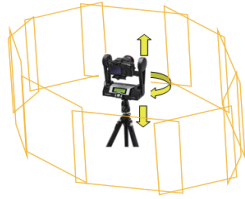
大きなビルや離れたところにある橋などの計測・診断に活躍する非接触変位計測システム「OpticG 2D」



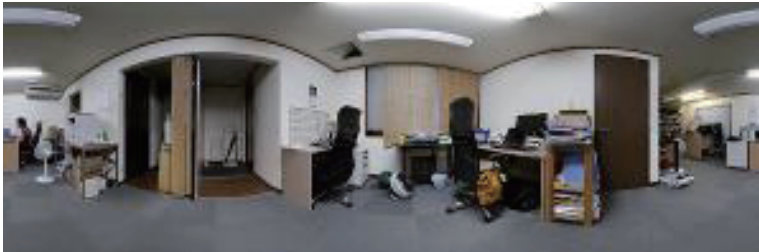
OpticG 2Dを使えば、橋の上を車両が通過する際のたわみを精密に計測して橋の劣化を検査することができ、目視・打音検査のように足場を組む必要がない



# 株式会社ズームスケープ



全周パノラマ画像や全天球画像から  
図面作成や寸法計測を可能にする  
3Dパノラマ画像計測システム「PanoMeasure2」



すべてをカバーする汎用性の高いものをつくるには大きな経営資源が必要になり、当社には難しいのが実情です。そこで、用途のある程度限定し、目的を絞り込んで開発・提案することになりました。

2015年に開発した3Dパノラマ画像計測システム「PanoMeasure2」は建築に特化し、現場の声に応えた商品といえます。これは遠方から計測するのとは逆で、狭い場所や近距離で活躍します。

例えば個人住宅の建築では、内壁は事前に工場で切断(プレカット)され現場で組み立てますが、工事が進む過程で微妙な誤差が生じ、着工時の図面とずれていきます。そのシワ寄せが後工程の外壁にいくため、外壁は現場でカットしなければならず、非効率な上に、騒音や粉じんが出る、高い技能をもった職人が不足、といった問題を抱えています。「PanoMeasure2」を使えば、わずか50センチ程度しかない足場からでも、パノラマ撮影によって壁面全体をとらえることができます。計測した数値をプレカット工場に転送して外壁を加工すれば、工期の短縮や職人不足にも対応できることから、昨年度には経済産業省の新連携事業計画の認定を受けました。

## — 今後の展望をお聞かせください

技術開発ばかりでなく、技術サービスを提供しながらどんどん現場に入ってゆक्तつもりです。当社の強みは、土木・建築分野での高い専門性や繋がりが、

それを技術開発に活かせる点です。現場に直接赴いてサービス提供することで、現場のニーズやノウハウを吸い上げ、それを開発に活かしながら、それをまた現場に還元する、という循環を目指しています。

また、これまでは私の講演や論文を見たという方や口コミのお客様が大半でしたが、販路開拓に向けて人員を増やし、東京に営業所を設けました。海外進出も進めており、ソフトなども国際対応しています。

オープンソースなどの利用により最先端技術の利用が誰でも簡単にできる時代となり、AIやロボットなど新しい技術と組み合わせれば、写真計測は予想もなかったような進化を遂げる可能性を秘めています。一方で、先行して技術を開発していても、あっという間に追いつかれてしまう、怖い時代でもあります。育ててきたコア技術は大切ですが、そればかりにしがみつくとではなく、常に新しい技術やいいものを柔軟に取り入れていく姿勢が大事だと考えています。

静的変位計測システム「防災モニタリングシステム」は、人がカメラを持ち運んで計測するため、機器の盗難が懸念される地域で、ダムの変位計測監視などへの活用が期待されている



## Data



昨年度から再び創業オフィスに入居し、販路開拓と海外進出に力を入れて事業拡大を進めている

## 株式会社ズームスケープ

- ▶ 代表者／代表取締役 小野 徹
- ▶ 従業員数／7名
- ▶ 住所／  
滋賀県大津市打出浜2-1  
コラボしが21 4F 413
- ▶ 創業／2008年
- ▶ 業務内容／  
写真計測に関するソフトウェア開発、  
技術コンサルティング
- ▶ TEL / 077-514-8191
- ▶ URL /  
<http://www.zoomscape.net>

### ※創業準備オフィス・創業オフィス

「コラボしが21インキュベーション」事業の一環で、起業家と共に考え、行動する支援施設です。単なる賃貸施設とは異なり、起業家の成長段階に応じた支援を受けることができ、創業・起業家のための学びの場を提供するほか、インキュベーション・マネージャーによるサポートを受けることができます。これから創業する方、創業後間もない方、第二創業で新事業に挑戦する方をサポートします。

### ※新連携事業計画

経済産業省による異分野連携新事業分野開拓計画(通称「新連携事業計画」)は、連携する中小企業等が創意工夫のもと、それぞれの強みを持ち寄ることにより新事業の創出および新市場の拡大を目指す取組を支援するものです。認定案件については独立行政法人中小企業基盤整備機構の専門家により事業化までのフォローアップが実施され、サービスモデルの開発や販路開拓に関する補助金、政府系金融機関の低利融資、信用保証の特例、中小企業投資育成株式会社の特例など各種支援施策を受けることができます。

### 問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ  
経営支援部 創業支援課  
担当/佐藤・中村

☎ 077-511-1412

☎ 077-511-1418

✉ [in@shigaplaza.or.jp](mailto:in@shigaplaza.or.jp)

## 米原地区 同時開催イベント

平成31年1月24日(木)  
10:30 ~ 17:00  
会場:滋賀県立文化産業交流会館(米原市)



参加  
無料

### 滋賀・三重・岐阜

🕒 13:00 ~ 17:00

## 「モノづくり商談会 in SHIGA」

県内外の発注企業と受注企業が一堂に会し、具体的な商談や情報交換をしていただく交流・出会いの場です。

【参加数】発注企業50社、受注企業100社  
3年に一度の滋賀での開催です。

方式:発注企業と受注企業による個別面談方式(予約面談)  
予約面談の中間帯にフリー面談(名刺交換程度)

時間:1社あたり面談20分、入替5分



参加  
無料

## 特別展示会

🕒 11:00 ~ 17:00

モノづくり商談会と同時開催で受注企業の展示会を行い、更なるマッチングの促進を図ります。

【参加数】ブース展示30社、パネル展示60社

【展示対象社】

滋賀・三重・岐阜県内の企業によるものづくり専門展示

【テーマ】ブース展示:オンリーワン技術&シェアNO.1

パネル展示:自社技術のシーズ展示



参加  
無料

## セミナー

🕒 10:30 ~ 12:00

【テーマ】

下請取引適正化推進セミナー(発注企業向けセミナー)

取引上のトラブル予防として昨年度も大好評の為に開催します。

生産性革命(これからの時代向け)

IoT、生産性改善など企業成長につながるセミナーを開催します。

お問い合わせ

(公財)滋賀県産業支援プラザ

経営支援部 販路開拓課 担当/植村、船越

☎077-511-1413(直)

☎077-511-1418

✉hanro@shigaplaza.or.jp

# 出張相談会のご案内

参加無料

## 相談員による出張相談

新たにビジネスをお考えの方、企業経営や販路拡大等でお悩みの方、まずはご相談にお越しください。相談員が親身になって相談いたします。

### 相談メニュー

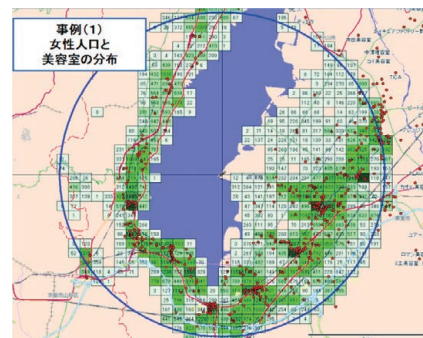
- ①販路開拓相談 ⇒ 売れる仕組み作りからの販路開拓・販路拡大支援
- ②経営改善相談 ⇒ 経営改善計画、ビジネスプラン、中期経営計画策定支援
- ③資金調達相談 ⇒ 資金繰り相談、開業資金事前相談
- ④国際ビジネス相談 ⇒ 海外進出相談、貿易相談全般
- ⑤取引あっせん相談 ⇒ 受発注(製造委託・修理委託)に関する相談及び受発注企業情報の紹介
- ⑥下請かけこみ寺 ⇒ 企業間取引に関する様々な悩みの相談、アドバイス
- ⑦マーケティング分析 ⇒ 商圈分析システムで、貴店の商圈の分析
- ⑧創業相談 ⇒ 起業を考えている方または間もない方へのアドバイス
- ⑨その他の相談 ⇒ 経営革新計画、知的財産相談、各種補助金相談、IT活用相談等

### 募集対象

滋賀県内に  
事業所を有する  
中小企業

## 商圈マップを作成します

「商圈マップ」による商圈情報の提供を無料で行っております。新規出店や販売戦略、既存店の競争環境の把握などに役立ててください。(右図参考)



商圈マップ

## 専門家派遣事業をご案内します

中小企業の方々が経営革新・創業等を進める上で、抱えている経営・技術等の諸問題を解決するために、民間の専門家等を派遣し、診断・助言を実施するものです。

## 今後の予定

### ● 出張相談会 in 彦根

日時:2018年9月7日(金) 10:00 ~ 15:00(相談時間50分まで)  
場所:彦根ビューホテル(彦根市松原町網代口1435-91)

### ● 出張相談会 in 長浜

日時:2018年11月21日(水) 11:30 ~ 14:30(相談時間50分まで)  
場所:北ビワコホテルグラツィエ(長浜市港町4-17)

### ● 出張相談会 in 米原

日時:2019年1月24日(木) 12:00 ~ 16:00(相談時間50分まで)  
場所:滋賀県立文化産業交流会館(米原市下多良二丁目137)



相談風景

### お問い合わせ

(公財)滋賀県産業支援プラザ

経営支援部 経営相談室 担当/岸田・杉本

☎077-511-1413(直)

☎077-511-1418

✉keiei@shigaplaza.or.jp

## アントレプレナー養成講座

地域経済を支える新たな中小企業の芽である起業や起業希望者を増やす取組は、将来の滋賀県にとって極めて重要な課題です。そこで、起業を促進するために産業支援プラザやコラボしが21インキュベーションの強み、起業風土を醸成する場であるビジネスカフェ等を活用したアントレプレナー養成講座を実施します。



7月に実施した【税務会計】をテーマにしたアントレプレナー養成講座の様子

10月に実施予定のテーマ

### 【今から作っておきたいマーケティング講座】3回シリーズ

「自社の商品をブランド化したい!」と切実に願う経営者はたくさんおられます。では、そのために「何をしますか?」そもそも「ブランディングやマーケティングって何?」と考え込んでしまうことはありませんか?または、「わかっているけど、何から手をつければ良いか判断がつかない。」ということはありませんか?

今回のセミナーは「マーケティング」を取り組むにあたって、講義だけではなく、講師とともに自社の商売を見つめ直し、講義の中で「自社だけの売れる仕組み」をカタチにすることが目的です。「自信を持って商売したい」「取引先や銀行等の関係者に理解してほしい」「何より売上を伸ばす仕組みをつくりたい」を考えておられる方に最適です。



田内 孝宜 氏

**場 所** 滋賀県大津市打出浜2-1 コラボしが21-4階中会議室1  
**講 師** Porto Fiducia 田内 孝宜 氏(中小企業診断士)  
**時 間** 14:00 ~ 16:30

- 第1回** 10月17日(水) 「売る」のか「売れる」のか
- 第2回** 10月24日(水) マーケティングの基本
- 第3回** 10月31日(水) 「売れる」の実現

11月に実施予定のテーマ

### 【体系的に理解する!会社経営の仕組みと会計力 税務会計講座】3回シリーズ

消費者の行動もモノ消費からコト消費(いわゆる体験)へとパラダイムシフトが起こっています。マーケティングはネット(ライン、facebook、ツイッターなど)を活用し、電子商取引やゲーム開発、人材紹介など新しいビジネスを手掛ける企業が成長の担い手として存在感を示しています。そして、ビジネスモデルも直販型やマーケットプレイス型など多様になり、事業戦略もインフラ型、オリジナル型など、より鮮明になっています。

会計はこのような社会の変化やビジネスモデル、企業戦略やKPIをよく理解した上でないと十分にその役割を發揮できなくなっています。今回のセミナーで、過去を振り返るだけでなく将来を予測するスキルを身に付けませんか!



小川 宗彦 氏

**場 所** 滋賀県大津市打出浜2-1 コラボしが21-4階中会議室1  
**講 師** 小川宗彦税理士・行政書士事務所 代表 小川 宗彦 氏  
**時 間** 14:00 ~ 16:30

- 第1回** 11月8日(木) あなたの会社がナンバーワンになる -強くて儲かる会社のつくり方-
- 第2回** 11月15日(木) お金の流れがわかる! -会計を知ってビジネスの荒波を乗り切れ-
- 第3回** 11月22日(木) 晴れた日には銀行から傘を借りよう! -銀行をパートナーに事業を伸ばせ!-

各講座の詳細とお申込みについては、産業支援プラザのホームページ「アントレプレナー養成講座」をご覧ください。約1ヶ月前から参加募集します。

#### お問い合わせ

(公財)滋賀県産業支援プラザ

経営支援部 創業支援課 担当/佐藤・中村

☎ 077-511-1412 📠 077-511-1418 ✉ in@shigaplaza.or.jp

# 「関西機械要素技術展」 (10/3～5)に 共同出展します!

本年10月にインテックス大阪で開催される関西機械要素技術展に、「しが新産業創造ネットワーク」として会員企業6社が共同出展します。

第21回関西機械要素技術展 (M-Tech KANSAI)

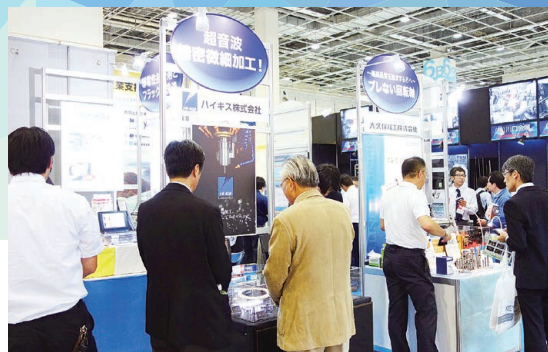
会 期: 2018年10月3日(水)～5日(金)

会 場: インテックス大阪

(大阪府大阪市住之江区南港北1-5-102)

出展ブース: 6号館Bゾーン 37-16

公式HP: [www.mtech-kansai.jp](http://www.mtech-kansai.jp)



## ネットワーク会員企業 から6社が出展

県内中小企業の秀でた製品・保有技術の展示を行い、産学官連携コーディネータ等が県内中小企業の持つ技術と川下企業等との技術マッチングを行います。

## 西日本最大級の専門展

関西機械要素技術展は、機械部品、加工技術を集めた西日本最大級の専門展「関西ものづくりワールド2018」の一環として、第21回関西設計・製造ソリューション展、第3回関西工場設備・備品展、第1回関西ものづくりAI/IoT展と併せて開催されます。

昨年度も、1,226社が出展し、3日間来場者数は36,936名に上りました。この展示会では、ベアリング、モータ、ねじ等の機械部品や、切削、プレス等の加工技術が出展され、優れた加工技術を求める製造業ユーザーが多数来場し活発な商談が行なわれます。

## 出展企業一覧

企業名	所在地等	出展内容
(株)アイゼン	東近江市五個荘築瀬町10-6 <a href="https://www.eisen.gr.jp/">https://www.eisen.gr.jp/</a>	ピンゲージ、ねじゲージ、ダイヤモンド工具
化研テック(株)	蒲生郡日野町大字北脇3-1-3 <a href="http://www.kaken-tech.co.jp/">http://www.kaken-tech.co.jp/</a>	フローパレット洗浄システム「パレットクリーナー」 リフロー炉洗浄剤 「ロックリンシリーズ」
近畿精工(株)	長浜市西上坂町275 <a href="https://kinki-seiko.net/">https://kinki-seiko.net/</a>	金型入れ子、微細加工部品
(株)ゴーシュー	湖南市石部緑台2-1-1 <a href="http://www.gohsyu.com/">http://www.gohsyu.com/</a>	マグネシウムパイプ(Mgパイプ) マグネシウム成形品
能勢鋼材(株)	犬上郡甲良町在士738 <a href="https://www.nose-sus.co.jp/">https://www.nose-sus.co.jp/</a>	高密度高集束水を用いた 2.5次元ウォータージェット切断加工
(株)大和バルブ	彦根市西葛籠町408 <a href="http://www.yamatovalve.co.jp/">http://www.yamatovalve.co.jp/</a>	リミットスイッチ付手動ボールバルブ ロック機構付手動ボールバルブ

※「しが新産業創造ネットワーク」とは…

「高度モノづくり」および「水・エネルギー・環境」の切り口からイノベーションの創出に取り組むため、研究開発や新事業創出に意欲的な企業および大学、研究機関等で構成されるネットワーク組織です。

([http://www.shigaplaza.or.jp/shigasinsangyo\\_about/](http://www.shigaplaza.or.jp/shigasinsangyo_about/))

### お問い合わせ

(公財)滋賀県産業支援プラザ

連携推進部 ものづくり支援課 担当/草間、熱田、有宗

☎077-511-1414

☎077-511-1418

✉[shin@shigaplaza.or.jp](mailto:shin@shigaplaza.or.jp)

## 10月 滋賀の“ちいさな企業”応援月間 コラボしが21 展示ギャラリー 展示企業募集

産業支援プラザでは、中小企業、ベンチャー企業の製品やサービス、技術等の紹介や、販路拡大、技術交流の促進を図るため、無料でご利用いただける展示ギャラリーをコラボしが21の1階に設けています。

10月に実施される「滋賀の“ちいさな企業”応援月間」※にあわせ、県内の小規模事業者による展示を募集いたします。ぜひ積極的にご活用ください。

※ 応援月間(10月)およびその前後である9月や11月に、県をはじめ、各関係団体(経済団体、支援機関、金融機関、大学、市町等)などの多様な主体が連携・協働して、経営、販路開拓、海外展開、創業、金融、技術、経営、人材育成、地域活性化などに関する事業(講習会、セミナー、イベント等)を実施します。



2017年10月「滋賀の“ちいさな企業”応援月間」の展示

2016年10月「滋賀の“ちいさな企業”応援月間」の展示

### ● 対象となる方

滋賀県内に事業所を持つ中小企業・団体

### ● 支援内容

展示期間	10月1日(月)～10月31日(水) (土、日、祝日は休館)	備品等	展示台(2台)、サインスタンド(1脚) ※1企業あたり
展示時間	午前9時から午後5時30分まで (管理人・案内人は置きません)	使用料	無料
会場場所	大津市打出浜2番1号 コラボしが21 1階	募集数	8企業・団体程度
展示面積	展示台(W900×D600×H730 単位ミリ)×2台 (ギャラリー全体は、約7m×7m)	資料提供・ 広報支援	・滋賀県内マスコミ28社(新聞社、放送局)に資料提供 ・プラザホームページとメールマガジンに掲載

### ● 展示申込

お電話でお問い合わせください。提出書類は下記になります。

- ・「展示ギャラリー申込書兼備品借用書」(<http://www.shigaplaza.or.jp/tenji/>からダウンロードできます)
- ・展示内容がわかる資料(パンフレット、ホームページのプリントアウトなど)

#### お問い合わせ

(公財)滋賀県産業支援プラザ

情報企画課 担当/瀬村・市原

☎077-511-1411

✉077-511-1418

✉ [jouhou@shigaplaza.or.jp](mailto:jouhou@shigaplaza.or.jp)

# 滋賀県よろず支援拠点 インフォメーション

## 直近のセミナー案内

平成30年  
9/11 (火)  
14:00 ~

### バックオフィス業務効率化

場所: コラボしが21



講師 オフィスCFC 代表 桶屋 康宏氏

創業間もない小規模事業者は、日々の販売・営業活動等主たる業務に追われバックオフィス業務が“思うようにはかどらない”“効率的な業務遂行がわからない”という課題を抱えるケースが多くあります。本セミナーでは、クラウドを活用した会計などの事務処理を効率的に行うためのツールを知って頂き、同時に情報セキュリティ対策とその基本的知識を学び、当該サービス等の活用でバックオフィス業務の効率化を実践的に支援するために少人数制のミニセミナーとさせていただきます。

#### 【講師プロフィール】

1980年4月NEC入社 大規模金融システム、中小企業のIT導入に携わり、2018年退社。2017年4月オフィスCFCを開業。複数社の顧問のほか、(公財)京都産業21、兵庫県中小企業団体中央会などの登録専門家、その他機関のコーディネーター等として活動中。また、中小企業へのIT導入支援を行い、中小企業向けICT、フィンテック、働き方改革やバックオフィス業務の軽減に関する講演も行う。

平成30年  
9/26 (水)  
13:00 ~

### 初級 売れるネットショップ活用基礎講座

場所: 滋賀県立男女共同参画センター



講師 八島ECコンサルティング事務所 代表 八島 和浩氏

顧客数を増やし売り上げアップにつなげるにはネットショップ活用は、有効な手段である。商品やサービスの差別化で売れるネットショップとするにはどうすればよいのか。農産物・加工品その他商品等を取扱う事業者などで、「ネットショップ活用がまだできていない」また「上手く活用できていない」などの悩みを解決するため、効果的な情報発信などネットショップ活用についての基礎を学ぶ。

#### 【講師プロフィール】

・2002年4月~2004年5月 日本食研(株)  
・2004年8月~2009年9月 楽天(株)  
・2009年9月~2011年9月 ネットショップ運営  
・2011年10月~2012年10月 日本EC サービス(株) 執行役員  
・2012年11月~ 八島ECコンサルティング事務所代表

## 滋賀県よろず支援拠点スタッフ



相談  
無料

経営上のあらゆるお悩み、ご相談ください!! 私達が全力でサポートします!



### チーフコーディネーター 井上 則男

ひとりで悩まず気軽にご相談ください。

- アドバイス内容
- 事業戦略
  - 資金計画
  - 起業・創業
  - 事業承継

#### 資格及びキャリア

- 地域金融機関で支援業務やコンサルタント業務に携わる



### コーディネーター 西山 彰子

これから起業・創業を考えておられる方は気軽にお越しください。

#### アドバイス内容

- 起業・創業
- 生産管理
- 販売管理

#### 資格及びキャリア

- ファイナンシャル・プランナー (CFP®認定者)



### コーディネーター 池淵ゆかり

ビジネスモデルデザインは「なんとなく頭の中にある構想」を描くファーストステップです。創業や新事業の計画作成でお悩みの方はご相談下さい。

#### アドバイス内容

- 経営改善
- 人事・労務
- 事業計画作成支援(起業・創業含む)
- 商品コンセプトのブラッシュアップ

#### 資格及びキャリア

- 中小企業診断士



### コーディネーター 中村 嘉造

中小企業者、小規模事業者の悩み解決をお手伝いします。

#### アドバイス内容

- 財務(税務)
- 起業・創業
- 事業承継

#### 資格及びキャリア

- 税理士



### コーディネーター 住田 崇

インバウンド市場のインパクトを滋賀の地域経済活性化へつなげたいと強く思っております。

#### アドバイス内容

- マーケティング戦略
- WEB制作
- インバウンド市場開拓

#### 資格及びキャリア

- ビジネス英語・中国語
- 株式会社化への起業経験



### コーディネーター 片桐 かほり

無駄にお金をかけない、集客力があり売上アップにつながるお店作りのお手伝いをしています。

#### アドバイス内容

- 商品陳列コーディネーター
- 店舗改善(改装、デザイン、配置等)
- ビジネスメール

#### 資格及びキャリア

- カラーコーディネーター
- インテリアコーディネーター
- 日本ビジネスメール協会認定講師



### コーディネーター 松尾 裕司

企業や商品の価値を見つけ出し、プレスリリース・ダイレクトメール等の様々な手法を駆使して売上げを上げるお手伝いをしています。

#### アドバイス内容

- ブランディング
- 販路開拓
- 販売促進
- 新商品開発

#### 資格及びキャリア

- インキューションマネージャー



### コーディネーター 山本 治広

経営を見直したい方は是非ご相談ください。

#### アドバイス内容

- 経営改善計画策定
- 起業・創業
- 事業承継

#### 資格及びキャリア

- 中小企業診断士



### コーディネーター 友成 眞一

海外との取引でお悩み事があればご相談ください。

#### アドバイス内容

- 海外ビジネス(輸出入)の進め方
- 貿易実務全般
- 貿易書類の書き方

#### 資格及びキャリア

- 貿易アドバイザー協会 会員 (AIBA貿易実務検定試験合格者)

## お問い合わせ

(公財)滋賀県産業支援プラザ  
滋賀県よろず支援拠点

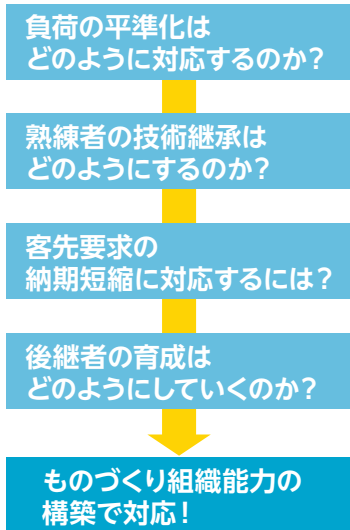
☎077-511-1425 ☎077-511-1418 ✉yorozu@shigaplaza.or.jp

## 滋賀ものづくり経営改善インストラクター派遣事業受付中!

～持続可能で生産性の高い企業・現場づくりをお手伝いします!～

### 「現場力最大化!」

…県内の中小企業等を対象に、経営改善のご要望に「ものづくり組織能力の構築」でお応えします。



**対 象** 県内中小企業等

**事業内容** ・経営者から課題の聞き取り  
・現場診断の実施とその結果の報告  
・3か月先のあるべき姿の提示  
・現場改善計画策定支援 等

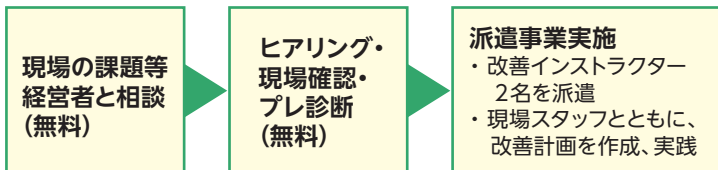
**派遣概要** インストラクター2名を  
1回あたり6時間、5回程度派遣  
※計30時間が上限です。  
※1回あたりの時間・期間等は  
ご要望により決定します。

**企業負担金** 10万8千円(税込)

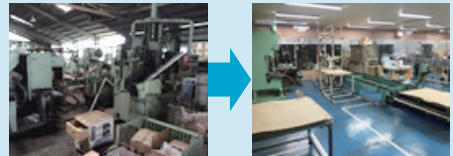
**事業実績:**  
平成27～29年度:計16社

**事業成果事例:**  
**【取組前】**  
・品質問題が発生  
・生産過程の流れが不明瞭  
・限界まで稼働しているのに、生産が  
設計を下回っている  
**【成果】**  
・ワークショップを通じて品質向上へ  
の改善ポイントの共有化が実現  
・生産過程の見える化を実現  
・リードタイム40%以上削減、設計を  
上回る生産能力発揮の達成  
等多数!

### 滋賀ものづくり経営改善インストラクター派遣事業の流れ



### 【改善インストラクター派遣による改善の一例】 赤札作戦の実施+生産方式の変更(ロット生産⇒小ロット生産)



## 滋賀ものづくり経営改善インストラクター養成スクール

～ものづくり技術を習得し、活用できる人材を育成します。～

現在、第4期スクールを開講中ですが、来年度、第5期スクールを開講予定です。ぜひご検討ください!

#### 講座のねらい

県内企業の経営基盤強化・安定を図るため、企業内に「ものづくり技術」を習得し、活用できる人材を育成します。現役、企業OBを対象とした滋賀ものづくり経営改善インストラクター養成スクールで育成された人材は、現場の改善を行い、「ものづくり組織能力」の構築をすることにより、持続可能で生産性の高い企業づくりを支援します。

#### 受講対象

- ①滋賀県内企業の経営者、現場責任者、幹部候補者等
- ②ものづくり企業等の退職者

#### 講座内容

- ①ものづくり概論(ものづくりに必要な基礎概念 等)
- ②理論・演習(品質管理、生産性、QCDF、5S、IoT・ICT、現場改善の進め方 等)
- ③現場診断実習

#### 講座概要

- ①実施期間:平成31年9月～12月下旬(20回(予定)、毎週土曜日、現場診断実習は12月に金・土曜で実施(3回))
- ②受講料:県内企業現場責任者、幹部候補者等 27万円(税込)  
ものづくり企業等を退職者された方 10万8千円(税込)
- ③定員:15名
- ④事業実績:平成27年度～29年度、44名修了。現在、改善インストラクターとして活躍中!



#### お問い合わせ

(公財)滋賀県産業支援プラザ

滋賀ものづくり経営改善センター

☎077-511-1423

☎077-511-1429

✉mmic@shigaplaza.or.jp



## 第7回「ものづくり日本大賞」を プラザが推薦した3社が受賞されました

### ◎「ものづくり日本大賞」とは

製造・生産現場の中核を担っている中堅人材や伝統的・文化的な「技」を支えてきた熟練人材、今後を担う若年人材など、「ものづくり」に携わっている各世代の人材のうち、特に優秀と認められる人材を顕彰するものです。本賞は、経済産業省、国土交通省、厚生労働省、文部科学省が連携し、平成17年より隔年開催しており、今回で7回目を迎えます。

### ◎プラザ推薦の受賞案件

#### ○特別賞（製造・生産プロセス部門）

**高橋金属株式会社 5名**

「超精密板鍛造プレスにおける金型内ねじ転造(雄ネジ)工法一貫システムの確立」

#### ○優秀賞（製品・技術開発部門）

**日伸工業株式会社 4名**

「高精度バリレス切断、曲げ加工等を可能にしたプレス一貫加工技術の開発と実用化」

**スマック株式会社 7名**

「あらゆるモータが駆動できる省エネ型モータ駆動装置」

### ◎第7回「ものづくり日本大賞」受賞状況（県内企業）

応募総数	270件
内閣総理大臣賞	7件(大塚オーミ陶業(株))
経済産業大臣賞	18件
特別賞	15件(☆高橋金属(株))
優秀賞	18件(☆日伸工業(株)、☆スマック(株))

☆はプラザ推薦



近畿ブロック表彰式・受賞者の集い



滋賀県知事への受賞報告

## 第1回「創業機運醸成賞」を 「ビジネスカフェあきんどひろばの運営」が受賞しました

### ◎「創業機運醸成賞」とは

開業率を向上させるために小中高の早い段階から創業に繋がる教育や特徴的な創業・起業家発掘のための啓蒙啓発、魅力発信、育成事業を実践してきた団体または個人を対象に中小企業庁が表彰する制度です。

◎公益財団法人滋賀県産業支援プラザが実施する「ビジネスカフェあきんどひろばの運営」が、第1回 経済産業省・中小企業庁「創業機運醸成賞」を受賞しました。

#### ○表彰式

期日：平成30年2月23日（金）

主催：中小企業庁

会場：品川インターシティホール（東京都港区港南2-15-4）



受賞式の様子

### ◎「ビジネスカフェあきんどひろば」とは

滋賀で創業・起業をお考えの方々の交流の場です。起業のヒント、アイデア、成功の秘訣や仲間を得ることを目的としています。

平成18年度から、これまで約500回、約1万人の参加があり、プラザのインキュベーション施設には116人が入居され、地域の創業機運の醸成に寄与しています。

#### ビジネスカフェあきんどひろばの様子



◀東近江市 ファブリカ村

▼米原市 隣町パーラー



# 平成30年度 イベント・セミナー案内

平成30年9月～平成31年2月に開催予定のイベント・セミナーの一覧です。  
掲載内容は予定であり、変更する場合があります。  
開催日の約1か月前から参加募集しますので、プラザのホームページ、またはメルマガをチェックしてください。

開催予定日	イベント・セミナー名	概要	担当課
9月6日(木) 7日(金)	しがビジネスマッチング会 10:30～16:00	会場:彦根ビューホテル 1F 滋賀中央信用金庫との共催による発注企業と受注企業との商談会	販路開拓課
9月11日(火)	「バックオフィス業務効率化」 ミニセミナー ～個別相談付～	会場:コラボしが21 3F 研修室 定員:10名 講師:オフィスCFC 代表 桶屋 康宏 氏	よろず 支援拠点
9月13日(木) 27日(木) 10月11日(木) 23日(火)	ビジネスカフェ in コラボしが21 「あなたのアイデアを聞かせてください」 ～ビジネスモデルキャンパスを使って 整理しませんか?～	会場:コラボしが21 4階 IM室 定員:各日2名 対象:県内でこれから起業、 新事業立ち上げを考えている方	創業支援課
9月18日(火)	モノづくり受発注広域商談会	会場:マイドームおおさか 2F 展示ホール (大阪市中央区本町橋2番5号) 更なる受注量の確保や新規取引先の開拓を図る県内中小企業者のため、近畿・四国9府県の各支援センターと(公財)全国中小企業取引振興協会が、合同で商談会を行う。	販路開拓課
9月26日(水)	「初級 売れるネットショップ活用講座」 ～売れる秘密のノウハウ 2つ伝授します!!～	会場:滋賀県立男女共同参画センター 定員:100名 講師:八島ECコンサルティング事務所 代表 八島 和浩 氏	よろず 支援拠点
10月 1日(月) 15日(月) 29日(月)	出張TIP*S in 湖北 (3回シリーズ)	会場:長浜市役所 多目的ルーム 定員:30名 対象:これから何かをはじめたい、地域をよくしたいと考えている方、創業塾等へ過去に参加したことがある方 TIP*S(ティップス)は、独立行政法人中小企業基盤整備機構が運営する全国の中小企業や小規模事業者、起業に関心がある方などのための新しい学びと実践の場です。	創業支援課
10月 3日(水) ～5日(金)	第21回関西機械要素技術展 (M-Tech KANSAI)	会場:インテックス大阪 [しが新産業創造ネットワーク]として会員企業6社が共同出展。 出展企業:(株)アイゼン / 化研テック(株) / 近畿精工(株) / (株)ゴージュ / 能勢鋼材(株) / (株)大和バルブ	ものづくり 支援課
10月16日(火)	「いきいき滋賀 モノづくりセミナー in大津」	会場:コラボしが21 厳しい経済環境下に置かれている中小企業に役立つ、モノづくり企業の経営者のためのセミナーを開催。 テーマ(講演とトークセッション) ①「中小企業等における『生産性革命』の実現」 ②「中小企業の実例紹介と今後の課題に向けて」	販路開拓課 滋賀 ものづくり 経営改善 センター
10月17日(水) ～19日(金)	びわ湖環境ビジネスメッセ (滋賀県IoT推進ラボ活動紹介)	会場:長浜バイオ大学ドーム 滋賀県IoT推進ネットワーク参加企業や市町の、取り組み、IoT商品・サービスから、代表的な事例を、実物や映像、パネル等で紹介。	情報企画課
10月17日(水) 24日(水) 31日(水)	アントレプレナー養成講座 マーケティング (3回シリーズ)	会場:コラボしが21 3階 中会議室1 定員:各回20名 講師:中小企業診断士 田内 孝宣 氏 ※ 詳細はP12をご参照ください	創業支援課
10月24日(水) 11月28日(水) 1月30日(水) いずれも 13:00～17:00	Web活用実践ワークショップ (Webマーケティング編) (3回シリーズ)	会場:コラボしが21 3F 会議室 対象:Webを活用してB to C、B to B取引を積極的に実施している方、もっと高度に活用したい方 定員:8事業者 講師:株式会社 創 代表取締役 村上 肇 氏	情報企画課

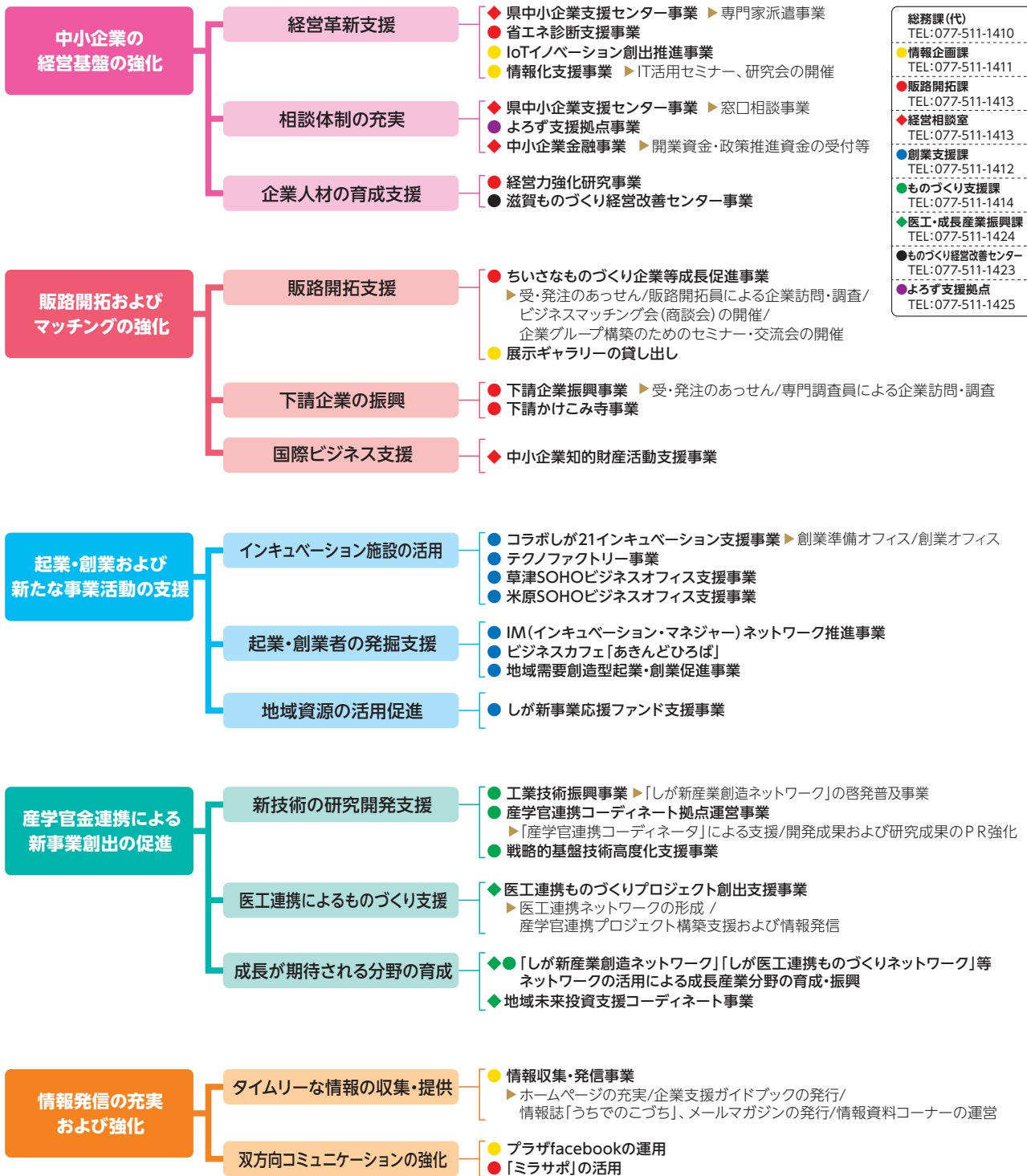
プラザホームページ <http://www.shigaplaza.or.jp>  
 プラザメールマガジン <http://mlmg.shigaplaza.or.jp/mlmgnw/>

メールマガジンの配信は、  
 こちら▶から  
 お申し込みを(登録は無料です)



開催予定日	イベント・セミナー名	概要	担当課
11月 7日(水) ～ 10日(土)	メッセナゴヤ2018	会場:ポートメッセなごや 日本最大級の異業種交流会。 テクノファクトリー入居企業2社と共に出展。	創業支援課
11月 8日(木) 15日(木) 22日(木)	アントレプレナー養成講座 財務会計 (3回シリーズ)	会場:コラボしが21 3階 中会議室1 定員:各回20名 講師:小川宗彦税理士・行政書士事務所 代表 小川 宗彦 氏 ※ 詳細はP12をご参照ください	創業支援課
11月15日(木)	「成功事例から学ぶ、 売上げがあがるお店作り」 ～まずは一歩! できるところからやってみませんか～	会場:コラボしが21 3F 研修室 定員:10名 講師:滋賀県よろず支援拠点 片桐 かほり 氏	よろず 支援拠点
11月21日(水) 11:30～14:30	出張相談会 in 長浜 (予約制:相談時間50分)	会場:北ビワコホテルグラツィエ 対象:新たにビジネスをお考えの方、企業経営(販路開拓・ 経営改善・資金調達・国際ビジネス・取引あっせん・下請か けこみ寺・マーケティング分析等)でお悩みの方 (内容に応じて相談員が対応)	経営相談室 よろず 支援拠点
1月24日(木)	滋賀・三重・岐阜 「モノづくり商談会 in SHIGA」 13:00～17:00	滋賀・三重・岐阜3県による合同商談会。	
共通会場 滋賀県立 文化産業 交流会館	特別展示会 11:00～17:00	受注企業によるオンリーワン技術のブース展示。	販路開拓課
	セミナー ①下請取引適正化推進セミナー ②生産性革命セミナー 10:30～17:00	テーマ: ①下請取引適正化推進:公正取引委員会担当官による発注企業に 対する下請法の解説。 ②生産性革命:これからの時代に向け、IoT、生産性改善など企業 成長につながるセミナー。	情報企画課
	出張相談会 in 米原 (予約制:相談時間50分) 12:00～16:00	会場:滋賀県立文化産業交流会館 対象:新たにビジネスをお考えの方、企業経営(販路開拓・経営改 善・資金調達・国際ビジネス・取引あっせん・下請かけこみ寺 ・マーケティング分析等)でお悩みの方 (相談内容に応じて相談員が対応)	経営相談室 よろず 支援拠点
2月14日(木) ～ 15日(金)	近畿・四国合同商談会	会場:パルスプラザ(京都市) 近畿・四国11府県による合同商談会。	販路開拓課
2月上旬	第4回 滋賀県IoT推進ラボセミナー	各種センサーやLPWAを利用したIoTサービス・製品の創 出事例および、IoTを活用したものづくり現場の生産性向 上事例などを紹介し、参加企業の具体的な取り組みに役 立つ、実践的な情報を提供。	情報企画課
2月21日(木)	元気な企業はここだ ニーズを掴んで商品開発で成功!	会場:コラボしが21 3階 大会議室 定員:50名 講師:竹原 信夫 氏	よろず 支援拠点

多様な支援・幅広い情報の提供・築きあげたネットワークの連携・多様な人材の活用等により、中小企業者等を支援します。



総務課(代)  
TEL:077-511-1410

● 情報企画課  
TEL:077-511-1411

● 販路開拓課  
TEL:077-511-1413

◆ 経営相談室  
TEL:077-511-1413

● 創業支援課  
TEL:077-511-1412

● ものづくり支援課  
TEL:077-511-1414

◆ 医工・成長産業振興課  
TEL:077-511-1424

● ものづくり経営改善センター  
TEL:077-511-1423

● よろず支援拠点  
TEL:077-511-1425



## 公益財団法人 滋賀県産業支援プラザ

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2-1 コラボしが21(2階)

TEL:077-511-1410(代表) / FAX:077-511-1418(共通)

【E-mail】info@shigaplaza.or.jp 【URL】www.shigaplaza.or.jp

■ JR琵琶湖線(東海道線)「大津」駅より徒歩20分、バス約7分、「膳所」駅より徒歩約15分

■ 京阪電鉄「石場」駅より徒歩3分(JR膳所駅、JR石山駅乗り換え)



編集後記

明治維新から数えて今年には150年目。その間、さまざまな企業が生まれ、その多くが時とともに消えていきました。そこで、今号は「企業の存続」をテーマにお話を伺い、むやみに土俵を上げず、お客様の視点で自社の強みを活かす戦略を常に考えること、時代の変化に合わせて機を逃さず手を打つことの大切さを学びました。「商いの常道」とはいえ、実践することの難しさを知るとともに、それをやり続けておられるお会社に尊敬の念を覚えた取材でした。